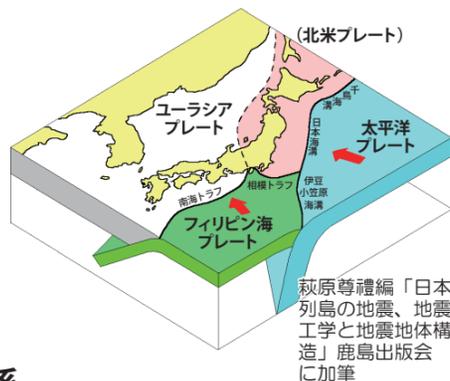


# 地震を知る

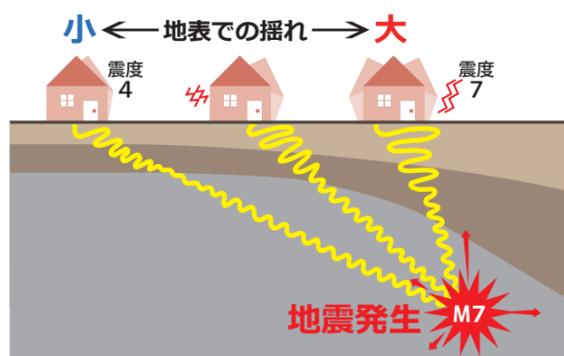
## 日本は地震多発地帯

日本周辺は、複数のプレートによって複雑な力がかかっており、世界でも有数の地震多発地帯となっています。マグニチュード6以上の地震回数は、世界で発生した地震のうち約2割が日本で発生しています。



## 震度とマグニチュード

震度は、ある地点における地震の揺れの強さを示します。このため、同じ地震でも震源からの距離などによって震度は変わります。マグニチュード(M)は、地震のエネルギーの規模を示します。マグニチュードが1増えると地震の規模は約32倍に増大します。

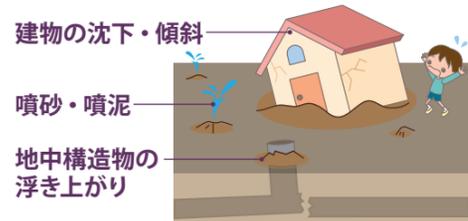


### 震度と揺れの関係

5弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人々が、身の安全を図ろうとする。一部の人々は、行動に支障を感じる。</li> <li>座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。</li> </ul>
5強	<ul style="list-style-type: none"> <li>非常に恐怖を感じる。多くの人々が、行動に支障を感じる。</li> <li>棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。タンスなど重い家具が倒れることがある。</li> <li>補強されていないブロック塀の多くが崩れる。多くの墓石が倒れる。</li> </ul>
6弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>立っていることが困難になる。</li> <li>固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。</li> <li>かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。</li> </ul>
6強	<ul style="list-style-type: none"> <li>立っていることができず、はわないと動くことができない。</li> <li>固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。</li> <li>多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。</li> <li>ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。</li> <li>ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。</li> </ul>

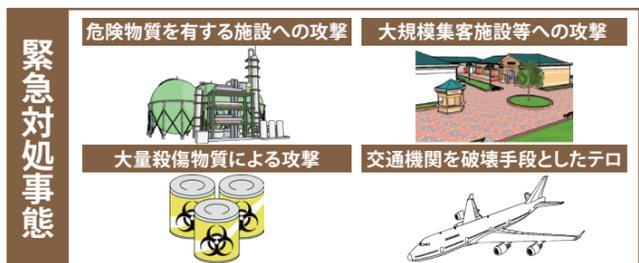
## 大地震の時の液状化現象

地震などの大きな揺れが一定時間続くと、地下水を含む軟弱な砂質土盤では液状化現象が発生する可能性が高くなります。この現象により、建物が傾いたり道路が陥没したりする被害が発生します。



# 国民保護を知る

国民保護とは、武力攻撃事態や緊急対処事態から、国民の生命、身体及び財産を保護することを行います。国では、我が国の平和と安全を確保するため、外交努力や国際平和協力等を通じ、国際社会の平和と協調を図る取組みが行われています。



# 防災情報を知る

## 警戒レベル・避難情報と避難行動

水害・土砂災害について、町が出す避難情報と、国や県が出す防災気象情報が5段階の警戒レベルに整理されました。内容を正しく理解し、それぞれのレベルに応じて適切に行動できるようにしましょう。

警戒レベル・状況	みなさんがとるべき行動	避難情報等	防災気象情報 <small>(国土交通省・気象庁・県が発表)</small>
警戒レベル5 災害の発生または切迫	<b>命の危険 直ちに安全確保!</b> すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 今いる場所より安全な場所へ直ちに避難する	<b>緊急安全確保</b> ※1 〔下妻市が発令〕	警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 氾濫発生情報 等
<b>レベル4・レベル4相当までに危険な場所から必ず避難!!</b>			
警戒レベル4 災害のおそれ高い	<b>危険な場所から全員避難</b> 台風などにより暴風が予想される場合には、 暴風が吹き始める前に避難を完了しておく	<b>避難指示</b> ※2 〔下妻市が発令〕	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 等
警戒レベル3 災害のおそれあり	<b>危険な場所から高齢者等避難</b> 高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動 を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、 自主的に避難する	<b>高齢者等避難</b> 〔下妻市が発令〕	警戒レベル3相当情報 洪水警報・大雨警報 氾濫警戒情報 等
警戒レベル2 気象状況悪化	<b>自らの避難行動を確認</b> ハザードマップなどで自宅等の災害リスクや、 避難情報の把握手段を再確認する	洪水注意報 大雨注意報 等 〔気象庁が発表〕	警戒レベル2相当情報 氾濫注意情報 等
警戒レベル1 今後気象状況悪化のおそれ	<b>災害への心構えを高める</b> 最新の気象情報に注意するなど、積極的に 情報を収集するよう意識する	早期注意情報 〔気象庁が発表〕	これらは、 住民が自主的に避難 行動をとるために 参考とする情報です

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

## 竜巻注意情報

竜巻発生の可能性に応じ、段階的な情報発表が気象庁より行われます。竜巻注意情報が発表された場合には、空の状況に注意を払い、積乱雲が近づいたら身の安全を図ってください。

### 情報発表のタイミング

半日~1日前	<b>「気象情報」発表</b> 「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記します。	竜巻が発生しやすい気象状況かどうか事前に確認
数時間前	<b>「雷注意報」発表</b> 落雷、ひょう等とともに、「竜巻」も明記します。	外出前に最新の注意報を確認
0~1時間前	<b>「竜巻注意情報」発表</b> 今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることをお知らせします。	空の様子に注意し、積乱雲が近づくと兆しを感じたら、ただちに身の安全を確保
常時(10分毎)	<b>「竜巻発生確度ナウキャスト」</b> ナウキャストで詳細な領域を把握できます。	戸外では、携帯電話サービスで最新のナウキャストを随時確認